



お知らせ

2017年11月

「実海域実船性能評価プロジェクト」への参画

日本の海事クラスターによる共同研究「実海域実船性能評価プロジェクト」が、海運、造船、船用など25社の参加により、活動が開始しました。当社も本プロジェクトの主旨に賛同し参画いたします。

本プロジェクトは2020年9月までの3年間の研究を通じて、波や風のある実海域での船舶の性能を正確に評価するための「ものさし」の開発を目的とした共同研究プロジェクトです。

「実海域実船性能評価プロジェクト」の解説

船舶が実際に運航する波や風のある海域の中での船舶の速力、燃費等の性能（実海域性能）を正確に評価する方法の開発を目的とした共同研究プロジェクトです。

この評価方法が技術的に確立され、世界に通用する客観的な指標が定まることで、実際の運航状態における船舶の性能を的確に評価することが可能となり、より効率の高い海上輸送を実現するとともに、温室効果ガスなどの地球環境への負荷を低減できると考えられます。

また、我が国の海運・造船技術は、実海域での運航において、その性能が高く評価されています。このプロジェクトで開発する客観的指標（ものさし）により、さらにその技術の向上を促すとともに、より先進的な海上輸送に貢献できるものと考えられます。

【本お知らせに関するお問い合わせ先】

関西ペイントマリン株式会社

企画室 松原 義朗

電話 06-6499-2145

E-mail: yoshi.matsubara@kp-marine.co.jp